平成２４年度　業　務　棚　卸　表

上下水道局　　生活排水課　課長　中村 善幸	
作成日	平成24年8月27日

総合計画での位置付け	
基本目標または5つの視点	基本目標 ①　都市と環境が調和するまち
基本的政策または上位目的	基本的施策 ３ ： 多様な主体の連携による環境都市への展開

		成果・活動指標	実績（平成22年度）	目標（平成23年度）	実績（平成23年度）	目標（平成24度）	達成度
任務目的	川や海の水がきれいなまちになる。	下水道や合併浄化槽による汚水衛生処理率	84.0%	85.5%	84.9%	86.2%	

２２年度の実績と２３年度の実績見込を受けた取り組みの評価

・下水道整備地域の住民を対象に、測量や工事に際して説明会を開催し、受益者負担金、下水道使用料及び水洗化の必要性を訴え、平成２３年度から実施した水洗化工事費積立奨励金制度などの支援策を紹介し、水洗化の促進に努めたが、東日本大震災の影響による新築件数の減少などにより、目標を0.6%下回った。

・浄化槽指導業務の基礎となる浄化槽台帳の情報整理、修正作業を平成２２年度に完了させ、平成２３年度より浄化槽法に則した維持管理を実施していない浄化槽管理者に対し、各戸訪問による啓発・指導を実施した結果、浄化槽の維持管理の指標となる法定検査の適正件数は、個人管理の合併浄化槽おいて前年度より３６６件増加させることができた。

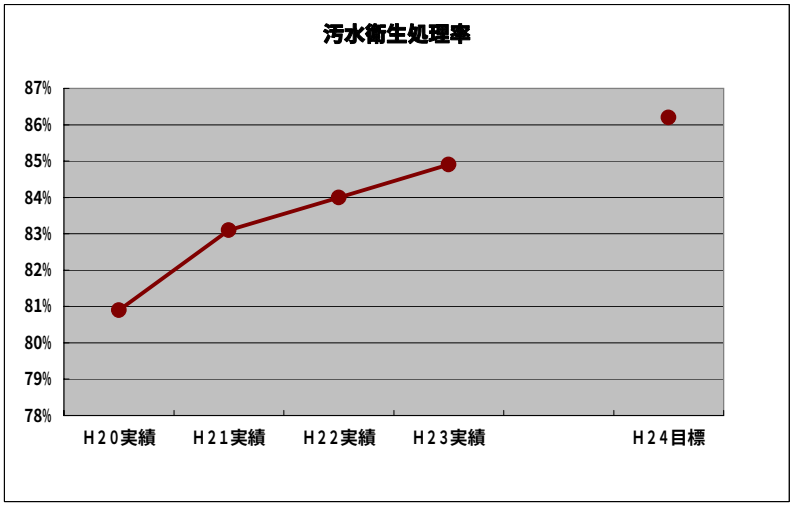
下水道や合併浄化槽による汚水衛生処理率	
Ｈ２０実績	80.9%
Ｈ２１実績	83.1%
Ｈ２２実績	84.0%
Ｈ２３実績	84.9%
Ｈ２４目標	86.2%

２４年度の取り組み方針

汚水衛生処理率を向上させるため、様々な施策を積極的に展開する。

・公共下水道については、既存の施策を積極的に実施するとともに、新たな取組みとして、環境学習の一環として小学校への出前講座を平成２５年度から予定しており、平成２４年度は関係機関と調整し教材を作成する。

・合併浄化槽については、単独浄化槽や汲取り便所からの転換促進及び既存の施策を積極的に実施するとともに、市民が浄化槽法に則した維持管理が実施しやすい施策を構築する。



優先順位	目的達成に必要な基本的な手段	指標	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度目標	ー	達成度
	具体的な事業の取り組み内容（項目）	事業名					-
01	水洗化を進める。	下水道等の水洗化人口	212,263人	213,925人	217,800人	ー	
	未水洗化家屋への意向調査、水洗化依頼					0	
	排水設備申請の審査、指導					0	
	無届接続の防止、処分					0	
	指定工事店の登録、指導					0	
	水洗化支援策の実施					0	
	下水道工事説明会の開催					0	
	受益者負担金の調定、賦課					0	
	特定事業場等の接続指導					0	
	特定事業場等の水質監視、指導					0	
	下水道情報の広報					0	
	下水道デー催事の開催					0	
		小計	0	0	0	0	
02	浄化槽の維持管理向上に努める。	法定検査適正件数（小型合併処理浄化槽）	1,432基	1,798基	1,900基	ー	
	法定検査未実施家屋への啓発、指導					0	
	法定検査不適正管理者への指導					0	
	汲取り便所、単独浄化槽からの転換啓発、指					0	
	合併浄化槽設置費補助申請の審査、補助					0	
	浄化槽台帳の整備及び管理					0	
	浄化槽保守点検業者の登録、指導					0	
						0	
						0	
		小計	0	0	0	0	
合計							